家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭総合	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	1年
教科書	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう	副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識と技能を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト 等
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、問題点を見出して課題を設定し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加態度 等
主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業・実習への参加態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 生活のマネジメント 第2章 青年期の課題と自立 第3章 家族・家庭生活のマネジメント 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント 第5章 高齢期の生活のマネジメント 第6章 共生社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージごとの特徴と課題について考える。 ・青年期の自立について理解し、自立の達成のためにできることについて考える。 ・「家族」の定義を理解し、家族の機能や、家族・家庭に関する法律について考える。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身に付け、生命の尊さ、子育ての意義について考える。 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢者福祉の考え方を理解し、家族や地域が果たす役割について考える。 ・人生におけるリスク管理の必要性を理解し、セーフティネットワークについて考える。
2 学 期	第8章 経済生活のマネジメント 第10章 衣生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立について理解し、多様化・複雑化する消費生活の課題について考える。 ・自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上について考える。
3 学 期	第7章 持続可能な社会をつくる 第11章 住生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について考える。 ・現代の住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。

その他	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動。（4単位中2単位）
-----	-------------------------------

<様式1>

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	ファッション造形基礎	単位数	3単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	ファッション造形基礎(実教出版)	副教材	

学習 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 ・被服製作やデザインに関する課題を発見し，ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	・被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実習 ・ワークシート
思考・判断・表現	・被服製作やデザインに関する課題を発見し，ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実習 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習 ・ワークシート

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 衣服の構成 1節 人体と衣服 2節 立体構成衣服と平面構成衣服 第4章 和服の製作 1節 製作の基礎 2節 製作例（パンツ） 3節 着装	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服に求められる着心地のよさを理解する。 ・衣服の2つの形状（平面構成衣服・立体構成衣服）や，既製衣料サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し，長着などの製作をする。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。
2 学 期	第2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類 2節 衣服素材の性能と選択 第4章 和服の製作 2節 製作例（じんべい） 3節 着装	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。 ・デザインや着用目的など，用途に合わせた衣服材料を適切に選択し，取り扱いできる力をつける。 ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し，長着などの製作をする。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。
3 学 期	第4章 和服の製作 2節 製作例（じんべい） 3節 着装	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め，基本的な知識・技術を習得する。 ・歴史の中での和服や，こんにちでの位置づけを理解し，伝統的な和服の意義についての理解をふかめる。

その他	
-----	--

<様式1>

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	生活と福祉	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	生活と福祉（実教出版）	副教材	なし

学習 目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技術	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実習
思考・判断・表現	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・課題等の提出
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度 ・授業中の発言 ・課題等の提出

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 健康と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会における健康とQOLについて理解し、生涯を通じた健康づくりについて各ライフステージの特徴を理解する。
	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の特徴と病気について理解する。高齢者の生活課題とその施策について理解する。
2 学 期	第3章 高齢者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立支援の基本の考え方について理解し、家族への支援や介護でのコミュニケーションについて関心をもつことができる。
3 学 期	第4章 高齢者支援の法律と制度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度と介護保険制度のしくみを理解する。地域包括ケアシステムによる高齢者支援を理解する。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

<様式1>

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	保育基礎	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	保育基礎（実教出版）	副教材	なし

学習 目標	保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技術	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特徴，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ワークシート ・学習ノート
主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義と重要性について，幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い，保育が人間形成にどのようなかかわるかを考える。
2 学 期	2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者にはどのような資質が求められるか，またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど，保育者観についての考察を深める。
3 学 期	3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での保育の現状や，幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所，認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し，子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。

その他	
-----	--